

第八十四回
帝國議會
貴族院

所得稅法外二十九法律中改正法律案特別委員會會議事速記録第五號

昭和十九年二月四日(金曜日)午前十時四十七分開會

○委員長(伯爵二荒芳徳君) 是ヨリ開會致シマス

○黒田英雄君 私ハ酒稅法ニ付キマシテ一

二政府委員ニ御尋ネシタイト思ヒマス、其

ノ第一ハ酒稅法ノ第四條ニ關シマスル改正

ニ付テアリマス、酒稅法ノ第四條ノ第二

項ニ追加規定ヲサレテ居ルノデアリマシテ、

此ノ御趣意ハ、主ニ今日酒類、殊ニ清酒ハ

食糧ノ關係上非常ニ減石ヲサレルヤウニ

相成ツタノデアリマス、然ルニ一方酒類ノ需

要ト云フモノハ相當多イノデアリマシテ、

勿論私モ酒ヲ皆ニ飲メト云フコトヲ勸メル

譯デハナイノデアリマスガ、成ルベク酒ハ

飲マナイヤウニ注意スルコトハ必要デア

トハ思ヒマスケレドモ、併シ今日ノ時局重

要ノ産業ニ從事シテ居リマスル者ニ、必要

ナ酒ヲ供給スル、即チ戦力増強ノ上ニドウ

シテモ必要ナル酒ガアル、其ノ外ニ又國民

ノ戰時生活ノ安定ヲ保チマスルニ上ニハ、

又相當ノ酒ヲ供給スルコトガ必要デア

存ジマスルガ、ソレニ對シマシテ、今日酒

精飲料ノ供給ガ、清酒ノ非常ナル減石ニ依

リマシテ、不足シテ居ル状態ニアルト私ハ

存ジテ居ルノデアリマス、其ノ爲ニ政府ニ

於カレマシテモ、此ノ四條ヲ改正サレマシ

テ、清酒ニ「アルコール」其ノ他命令ヲ以テ

定ムル物品ヲ加ヘテ増石ノ實ヲ擧ゲヨウト

云フ御考ヘデアルト存ズルノデアリマス、

然ルニ此ノ規定ヲ見マス、命令ノ定ムル

所ニ依リ清酒ニ「アルコール」其ノ他ノ命令

ヲ以テ定ムル物品ヲ加ヘタモノハ、詰リ清

酒ト看做スト云フ御趣意ノヤウデアリマス、

此ノ命令案ヲ拜見シマス、清酒ニ混和ス

ル物品ハ「アルコール」ノ外ニ焼酎等ヲ指定

シテ、酒類製造者ヲシテ混和ノ數量、即チ

「アルコール」又ハ焼酎ハ「アルコール」分ニ

於テ清酒ト同量以內ニ制限スルト云フコト

ガアルノデアリマシテ、詰リ清酒ヨリモ半

分以下ノ「アルコール」又ハ焼酎ヲ加ヘタモ

ノハ、此ノ規定ニ依ツテ清酒ト見ルト云フ御

趣旨ノヤウニ思フノデアリマス、處ガ五條

ニ於キマシテ合成清酒ノ定義ガ「本法ニ於テ

合成清酒トハアルコール、焼酎又ハ清酒ト

他ノ物品トヲ混和シテ製造シタル酒類ニシ

テ、其ノ香味、色澤是ノ他ノ性状ガ清酒ニ

類似スルモノヲ謂フ」トアリマシテ、清酒

ト他ノ物品トヲ混和シテ製造シタモノ、即

チ改正ノ條文ニアリマスヤウニ、清酒ニ「ア

ルコール」其ノ他ノ物品ヲ混和スレバ、今

日ニ於テハ合成清酒デアアルトシテ五條ガ直

チニ適用サレルモノト私ハ思フノデアリマ

スガ、清酒ト他ノ物品ヲ混和シテ合成清酒

ヲ造ツテ居タラバ、他ノ物品ガ同量以下

デアレバ、今回ノ改正規定ニ依ツテ清酒ト看

做サレ、若シ同量ヲ超エル時ハ合成清酒ト

見ルト云フ風ニ解釋サレルコトニナルノデ

アリマスルカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○政府委員(松隈秀雄君) 只今ノ御尋ハ、

今回酒稅法ヲ改正致シマシテ、四條ノ第二

致シマシテ「命令ノ定ムル所ニ依リ清配ニア

ルコール其ノ他命令ヲ以テ定ムル物品ヲ

加ヘタルモノ亦同ジ」ト致シタ規定ニ關スル

御質問デアリマスルガ、此ノ規定ヲ置キマ

シタ趣旨ハ、御述ニナリマシタヤウニ、最

近酒造用米ハ食糧事情等ニ依リマシテ、使

用割當高ガ減少致シテ居リマシテ、本酒造

年度ニ於キマシテモ、米穀ヲ使ヒマス數量

ハ八十五萬石デアリマシテ、前酒造年度ノ

百四十餘萬石ニ較ベマス、四割程度減ツテ

居ル實情デアリマスルノデ、清酒ノ供給量

ガ勢ヒ減ツテ參リマス、之ニ對シテ合成清酒

其ノ他ノ増産ヲ圖ルコトニ致シテ居ルノデ

アリマスルガ、此ノ方モ各種ノ事情ニ制約

サレマシテ、思フヤウニ參ラス憾ミガアリ

マスルノデ、何トカ清酒ノ供給量ヲ増スト

云フコトヲ考ヘタ次第デアリマス、ソレガ

爲ニハ清酒ニ「アルコール」ヲ混和シテ増量

スルト云フコトガ考ヘラレルノデアリマシ

テ、其ノ方法ト致シマシテハ既ニ前年實行

シテ居リマスル清酒醪ニ「アルコール」ヲ添

加シマシテ、調製セシムル方法ニ依ツテ

行ツテ參ツテ居リマスルコトハ、御承知ノ通

リデアリマス、今年モ此ノ方法ニ依リマシ

テ清酒ノ増産ニ努メタイト思ヒマシテ、目

下努力ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、原

料「アルコール」ノ生産、輸送並ニ製造ノ時

期、技術、設備ノ許ス限リハ此ノ方法ニ依

ルノデアリマスルガ、釀造ノ時期ガ比較的

短期間ニ制約サレテ居リマスル關係上、此

分ニ達シ得ナイト云フ憾ミガアリマスルノ

デ、成製後ノ清酒ニ「アルコール」等ヲ混和

致シマシテ、増量スル方法ヲ併セ用ヒマシ

テ清酒ノ供給量ヲ殖ヤシタイト考ヘテ居ル

次第デアリマス、其ノ場合ニ於キマシテ清

酒ヲ基礎ト致スノデアリマスルガ、餘リ各

種ノモノヲ混和スルト云フコトニナリマス

ルト、清酒本來ノ定義カラ著シク離レルト

云フコトニナリマスルノデ、混和スベキ物

品ヲ命令ヲ以テ指定スルコトニ致シマシテ、

「アルコール」ノ外ニハ差當リマシテハ、新

式焼酎ヲ認メルト云フコトニ致シテ居ルノ

デアリマス、此ノ新式焼酎デアレバ度數ガ

低イト云フダケデ、實質ハ「アルコール」ト

變リガナイモノデゴザイマス、而モ其ノ場

合ニ於キマシテ「アルコール」ヲ加ヘマスル

限度モ、只今御話ノヤウニ清酒ト同量以內

ニ制限スルコトニ致シマスレバ、米ノ使用

ニ依ツテ生ジマスル「アルコール」分ノ不足

ヲ補フ程度デアリマスルカラシテ、清酒ノ

定義ニ入レテ差支ナイト、斯様ニ存ジマシ

テ所謂看做ス清酒ノ範圍トシテハ此ノ程度

ハ適當デアラウト考ヘタ次第デアリマス、

其ノ他ノ物品ヲ混和スルコトニナリマスル

ト、御説ノ通り合成清酒トノ分界ガ分リニ

ク、ナル、斯ウ云フ點ハ十分ニ考慮シテア

ル次第デアリマス、尙合成清酒ノ方ノ定義

モ、清酒ト他ノ物品トヲ混和シテ製造シタ

ル酒類ト云フ規定ガゴザイマスルガ、是ハ

矢張り第四條ニ於キマシテ清酒ト云フモノ

第四部第一二類 所得稅法外二十九法律中改正法律案特別委員會會議事速記録第五號

昭和十九年二月四日

貴族院

物品トヲ混和シテモノハ合成清酒ニナル、斯ウ云フコトニ解釋サレルノデアリマスルカラ、今回第四條ガ幾分擴張セラレマシテモ、ソレハ其ノ擴張ニ依リテハ尙清酒デア、其ノ擴張サレタ清酒ト、更ニ他ノ物品ヲ混和シタ場合ニ於テ初メテ合成清酒ニナル、斯様ニ解釋致シテ居ル次第デアリマス、尙「アルコール」分ニ於テ清酒ト同量以內ニ制限スルコトニ致シテ居リマスルカラシテ、ソレ以上ノモノハ出ナイ、從テ清酒ノ範圍ヲ逸脱シナイヤウニ十分取締ツテ參ル積リデ居リマス

○黒田英雄君 マダ質問ハ續キマスケレドモ、中止シマシテ、後デ願ヒマス

○松本滋治君 私ハ本法案中所得税法ノ第八十二條ニ一項ヲ加ヘテ居リマスル其ノ點ニ付キマシテ、大藏大臣及内務大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、其ノ規定ヲ讀ミマスルト、「稅務署長又ハ其ノ代理人ハ調査上必要アルトキハ納稅義務者ノ組織スル團體又ハ町内會部落會其ノ他此等ニ準ズル團體ニ對シ其ノ團體員ノ所得ニ付質問スルコトヲ得」ト云フコトニナツテ居リマス、之ヲ法律的ニ解釋シテ見マスルト、稅務署長又ハ其ノ代理人ガ此ノ規定ニ依リマシテ質問スル權利ヲ得ル譯デアリマス、サウナリマスレバ、其ノ結果トシテ此ノ質問ヲ受ケテ者ガ、其ノ質問ニ對シテ答申ヲスル公法上ノ義務ヲ生ズルコトハ當然ラウト思ハレルノデアリマス、尤モ此ノ質問ニ對シテ答申ヲシナイ場合ナドニ付キマシテハ、制裁ノ規定ハゴザイマセスケレドモ、併シ質問ヲ法律ガ認メテ居リマスル以上、之ニ對シテ答申スル義務ノ生ズルコトハ當然デアラウト思ヒマス、其ノ答申ノ義務ガアルト云フコト

ニナリマスレバ、此ノ質問ヲ受ケマシタ所ノ町内會部落會等ノ役員ナドハ、其ノ義務ヲ果タス爲ニ必要ナル調査ヲ致シマスト云フコトハ、是ハ公法上ノ義務ヲ果タス爲ニ必要ナル範圍ニ限リマシテハ、適法ヲモト見ナケレバナラスノデアリマス、即チ通常ノ場合ニ於テハ失禮ナコトヲ他人ニ申ストカ、或ハ他人ニ色々訊クトカ云フヤウナコトガ出來マセスト致シマシテモ、此ノ場合ニハ公法上ノ義務ガアル以上、其ノ義務ヲ果タスニ必要ナル範圍ニ於キマシテ、色々ノコトヲ致シマスコトガ適法視サレルコトニナリマス、斯クノ如ク解シテ參リマス、此ノ義務ヲ非常ニ重ク考ヘマスル團體ノ役員ナドガ、或ハ熱心ノ餘リ行キ過ギタコトヲスル虞ガ相當有リ得ルト思ハレルノデアリマス、即チ何トカシテ此ノ質問サレタ事項ニ對シテ正確ナル答申ヲ致シタイト云フ熱心ノ餘リ、面會ヲ欲セザル人ニ無理ニ面會ヲ求メルトカ、或ハ病人ニ對シテ容赦モナク質問スルトカ詰問スルト云フヤウナコトモアルカモ知レス、其ノ他探偵ガマシキ行動ヲスルト云フヤウナコトモ有リ得ルコトト思ハレマス、更ニ又之ヲ濫用スルヤウナ者ガアリマシタラバ、私怨ヲ晴ラス爲ニ非常ニ酷イコトヲ探リ出シテ、サウシテ之ヲ申立テル、或ハ虚偽ノコトヲ拵ヘ出シテ答申スル、場合ニ依リマシテハ之ヲ他ノ犯罪ノ手段ニスルコトモナイトハ言ヒ兼ネナイノデアリマス、斯クノ如キコトハ委員會ニ於キマシテ多數ノ委員ガ相當是ハ憂慮スベキコトデアルト云フコトニ考ヘマシテ、既ニ幾多ノ質問ガアツタコトハ、大藏大臣ノ御承知ト考ヘテ居ル所デアリマス、サ

ウ云フコトニナリマシテ如何ニ此ノ法條ヲ取扱フカト云フコトニ付キマシテ、相當議論ガ有リ得サウニ考ヘラレマシタノデ、委員長ノ御取計ヒニ依リマシテ、昨日午後多數ノ委員ガ集マリマシテ懇談會ヲ開キマシテ、相當評議ヲ致シタノデアリマス、其ノ結果トシマシテ到達シマシタ所ノ我々多數ノ者ノ意見ハ、此ノ際此ノ稅務署長又ハ其ノ代理人、即チ其ノ質問ヲスルヤウナ人ニ對シマシテ、相當強イ訓令ヲ出シテ戴イテ、行キ過ギノナイヤウニシテ戴クノガ宜カラウト云フコトニナツタノデアリマス、間違ヒテ避ケマス爲ニ、懇談會ニ於キマシテハ文章的ニ致シマシタカラ、ソレヲ先ヅ朗讀致シマシテ、多少釋明ヲ加ヘテ見タイト思ヒマス、朗讀ヲ致シマスルト、「所得税法第八十二條第二項ノ規定ニ依リ同項所定ノ團體ニ對シ質問スル事項ハ團體員及其ノ家族ノ住所、氏名其ノ他團體ノ役員ガ特ニ調査ヲ遂グルコトナクシテ答申スルコトヲ得ベキ範圍ニ限ルモノトシ答申スル爲戸々ニ就テ調査質問ヲ爲スガ如キコト無カラシムル様十分注意スベキ旨ノ訓令ヲ發シ嚴ニ之ヲ遵守セシムルコト尙右訓令ハ適當ノ方法ニ依リ之ヲ公示スルコト」ト云フコトデゴザイマス、多少說明ヲ加ヘマスルガ、此ノ懇談會ニ於キマシテハ、何カ施行規則其ノ他法令ニ依リマシテ質問事項ヲ列舉シテ制限スルト云フコトモ一策デアラウト云フノデ、種々考ヘタノデアリマスルガ、ドウモ列舉致シマスルト、大都會トカ、或ハ村落ト云フヤウナ所デ、多少事情モ違フノデアリマスカラ、普ク之ニ適應スルヤウナ事項ノ列舉ノ仕方ハムヅカシイノデアリマス、動モスレバ琴柱ニ膠スル嫌ヒガ出テ來ルノデアリマス、而

モ法律的ニ考ヘマシテモ、第八十二條ノ只今讀ミマシタ法文案ハ「其ノ團體員ノ所得ニ付質問スルコトヲ得」ト書イテ居リマシテ、其ノ質問ノ出來ルト云フ權限ヲ法律ガ與ヘテ居ルノハ、廣ク與ヘテ居ルノデアリマス、之ヲ命令ニ委任スルコトハ何等此處ニ書イテアリマセヌカラ、命令ニ委任ナキニ拘ラズ、命令デ之ヲ狭ク制限スルコトハ、或ハ法律論トシテモ相當ニ考ヘナケレバナラスコトガアルカモ知レス、サウ云フコトニ致シマスル爲ニハ、或ハ命令ノ定ムル事項トカ何トカ云フヤウナコトヲ此處ヘ入レナケレバナラスト云フ修正ノ必要ナドモ生ジテ來ルノデアリマス、旁、懇談會ニ於キマシテハ實際ノ運用ニ於テ間違ヒノナイヤウニシテ貫ヒタイ、ソレハ只今讀ミマシタヤウニ特ニ調査ヲ要スルヤウナコトヲ質問致シマスト云フコトニナリマスルト、ドウシテモ特ニ調査ヲシナケレバ答申ノ義務ヲ果タシタコトニナリマセヌカラ、色々調査ヲスル、其ノ調査ヲスル結果トシテ、弊害ヲ伴フト云フコトニナルノデアリマス、仍テ此ノ特ニ調査ヲ遂グルコトナクシテ答申スルコトヲ得ベキ範圍ニ限ルト云フコトニシテ戴キタイ、サウ云フヤウニ十分ナル訓令ヲ出シテ間違ヒノナイヤウニシテ戴キタイ、殊ニ此ノ戸ニ就テ調査質問ヲ爲スガ如キコトナカラシムルヤウ、十分注意スベキ旨ノ訓令ヲ稅務署長等ニ出シテ戴キ、サウシテ嚴ニ之ヲ遵守セシメテ戴キタイト云フノデアリマス、嚴ニ之ヲ遵守セシムルト云フコトハ餘計ノヤウニ見エマスルガ、訓令ヲ出シテ戴ケバ勿論遵守サルベキモノデアリマスルガ、近頃官廳ノ實際ヲ見マスルト、動モスレバ中央ノ御當局ノ意思ガ末梢ノ處迄徹底シナイ

モ法律上の義務ガアル以上、其ノ義務ヲ果タスニ必要ナル範圍ニ於キマシテ、色々ノコトヲ致シマスコトガ適法視サレルコトニナリマス、斯クノ如ク解シテ參リマス、此ノ義務ヲ非常ニ重ク考ヘマスル團體ノ役員ナドガ、或ハ熱心ノ餘リ行キ過ギタコトヲスル虞ガ相當有リ得ルト思ハレルノデアリマス、即チ何トカシテ此ノ質問サレタ事項ニ對シテ正確ナル答申ヲ致シタイト云フ熱心ノ餘リ、面會ヲ欲セザル人ニ無理ニ面會ヲ求メルトカ、或ハ病人ニ對シテ容赦モナク質問スルトカ詰問スルト云フヤウナコトモアルカモ知レス、其ノ他探偵ガマシキ行動ヲスルト云フヤウナコトモ有リ得ルコトト思ハレマス、更ニ又之ヲ濫用スルヤウナ者ガアリマシタラバ、私怨ヲ晴ラス爲ニ非常ニ酷イコトヲ探リ出シテ、サウシテ之ヲ申立テル、或ハ虚偽ノコトヲ拵ヘ出シテ答申スル、場合ニ依リマシテハ之ヲ他ノ犯罪ノ手段ニスルコトモナイトハ言ヒ兼ネナイノデアリマス、斯クノ如キコトハ委員會ニ於キマシテ多數ノ委員ガ相當是ハ憂慮スベキコトデアルト云フコトニ考ヘマシテ、既ニ幾多ノ質問ガアツタコトハ、大藏大臣ノ御承知ト考ヘテ居ル所デアリマス、サ

モ法律上の義務ガアル以上、其ノ義務ヲ果タスニ必要ナル範圍ニ於キマシテ、色々ノコトヲ致シマスコトガ適法視サレルコトニナリマス、斯クノ如ク解シテ參リマス、此ノ義務ヲ非常ニ重ク考ヘマスル團體ノ役員ナドガ、或ハ熱心ノ餘リ行キ過ギタコトヲスル虞ガ相當有リ得ルト思ハレルノデアリマス、即チ何トカシテ此ノ質問サレタ事項ニ對シテ正確ナル答申ヲ致シタイト云フ熱心ノ餘リ、面會ヲ欲セザル人ニ無理ニ面會ヲ求メルトカ、或ハ病人ニ對シテ容赦モナク質問スルトカ詰問スルト云フヤウナコトモアルカモ知レス、其ノ他探偵ガマシキ行動ヲスルト云フヤウナコトモ有リ得ルコトト思ハレマス、更ニ又之ヲ濫用スルヤウナ者ガアリマシタラバ、私怨ヲ晴ラス爲ニ非常ニ酷イコトヲ探リ出シテ、サウシテ之ヲ申立テル、或ハ虚偽ノコトヲ拵ヘ出シテ答申スル、場合ニ依リマシテハ之ヲ他ノ犯罪ノ手段ニスルコトモナイトハ言ヒ兼ネナイノデアリマス、斯クノ如キコトハ委員會ニ於キマシテ多數ノ委員ガ相當是ハ憂慮スベキコトデアルト云フコトニ考ヘマシテ、既ニ幾多ノ質問ガアツタコトハ、大藏大臣ノ御承知ト考ヘテ居ル所デアリマス、サ

コトモアルヤウデアリマス、訓令ノ出シツ放シデハナク、嚴ニ遵守セシムルヤウニ十分ナル御用意ヲシテ戴キタイト云フ趣意デアリマス、尙右訓令ハ適當ノ方式ニ依リ之ヲ公示スルコトト申シマスノハ、訓令ガ出マシテモ一般ニ知レテマセスト、變ナコトヲ調査サレタヤウナ時ニ、之ニ對シテ抗議ヲ言フコトヲ人ガ知ラナイト云フコトデハ困リマスノデ、適當ノ方法ニ依ッテ公示ラシテ戴キタイト、斯ウ云フコトヲ言フテ居ル次第デゴザイマス、大藏大臣ニ對シマシテハ、此ノ多數ノ者ガ相談ヲ致シマシテ、私ガ代ハルト申スト語弊ガゴザイマセウガ、多數ノ者ノ御意嚮ヲ代表シテ此處ニ伺フ次第デゴザイマス、大藏大臣カラ此ノ事ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイトデアリマス、尙内務大臣ニ同時ニ質問ヲ續クテ申上ゲタガ方便宜カト思ヒマス、之ヲ申上ゲマス、斯ウ云フコトニ大藏當局ノ方デハ御注意ラシテ戴キマシテモ、町内會トカ部落會トカ云フヤウナモノヲ直接ニ監督スル方ハ、是ハ内務御當局ノ御擔任カト考ヘルノデアリマス、假ニ斯ウ云フヤウナ訓令ガ稅務署長等ニ出サレマシテ、稅務署長等ハ特ニ戸々ニ付テ質問スルヤウナ質問事項ハ出サレナイト云フコトニナリマシテモ、或ハ時ニハ、誤テ出サレルコトガアルカモ知レズ、假ニサウ云フモノヲ出サレナイトシマシテモ、之ヲ受ケラレタ町内會トカ、部落會トカ云フ所ノ役員等ガ、或ハ趣旨ヲ誤テ行キ過ギタコトヲスルト云フヤウナコトガアッテハ困ラウト考ヘ、多數ノ意見ハサウ云フコトニ付テ相當ニ心配ヲ致シタノデアリマス、是ハ稍、神經過敏ノヤウニ御聽取リニナルカモ知レマセウガ、此ノ趣旨ヲ尙少シ申上ゲタガ

宜イカト思ヒマス、ソレハ外デモアリマセウガ、近來個人ノ法律上持ッテ居リマスル自由トカ財產トカニ對スルヤウナ權利ヲ侵犯スルヤウナ行爲ヲ致シマスルコトハ、目的ガ善イト云フヤウナ時ナラ差支ガナイト云フヤウナドウモ考ガ相當擴ガッテ居ルノデハナカラウカ、サウ云フコトヲ相當見受ケル、何等職權ガナイト思フヤウナモノガ、矢張りドウモ行キ過ギタコトヲスルコトガアリマス、或ハ又職權ノアル官憲ノ行爲ニ於テモ、勿論行キ過ギガアルヤウニ考ヘテ居リマス、マア例ヘバ一例ヲ擧ゲテ申シマスト、私共澤山サウ云フコトヲ見聞シテ居リマスガ、私ノ知ッテ居ル者ナドデ、先日子供ガ急病ヲシマシタノデ、女中ノ藥屋ニ走ラシタノデアリマス、何時迄經ッテモ歸ッテ參ラス、何カ平常ノ時ノ數倍ノ時間ヲ要シテ初メテ歸ッテ來タ、ドウ云フコトカト云フノデ聽キマシタラ、恰モ其ノ途中ニ防空演習ガアッテ、其處ヘ「モンペ」ヲ履カズニ行ッタト云フノデ、何カ腕章ヲシタ人ガ捉マヘテシマツテ、ソレカラ非常ニ急グ理由ヲ申シテモ聽カナイ、放サナイデ非常ナ長講一番色色防空ニ付テノ訓戒ヲ與ヘラレタ、ソレガ一箇所デナク一箇所デヤラレタノデ、其ノ爲ニ何十分カラ要シテシマツタト云フヤウナコトデアリマシタ、幸ニシテ其ノ病人ハ大シタコトガナクテ濟ンダカラ良カッタガ、是ガドウモ手遅レデ死ニデモシタラ、一體誰ガ責任ヲ負ウテ呉レダラウカト云フコトヲ泌々ト言ッテ話ヲ直接ニ聽イテ居リマス、又傳聞シマスル所ニ依リマスルト、東京カラハ非常ニ遠イ處ノヤウデアリマスガ、或都會ニ祭ガアッテ、其處ヘ附近ノ田舎ノ娘達ガ、綺羅ヲ飾ッテ出テ參ッテ、サウス

ルト、何カ船カラ揚ガル所カ何カニ缺ラ持ッテ團體員ガ控ヘテ居ッテ、其ノ袂ヲ皆切ッテ泣イテシマツテ、モウ祭ヲ見ルドコロデナクテ、這々ノ態デ歸タト云フヤウナコトヲ、親シク見聞シタ人カラ私ハ話ヲ聽キマシタ、マアサウ云フヤウナ例ヲ擧ゲマスルト枚舉ニ違ナシト言ッテ宜シイノデアリマス、斯クノ如キコトガ段々行ハレテ參リマスルト、憲法及ビ法律ニ依ッテ我々ノ與ヘラレテ居リマスル自由トカ或ハ財產ト云フヤウナコトニ關シテ持ッテ居リマスル權利ハ、濫リニ權限ノナイ者ニ依ッテ侵犯サレ、目的サヘ善ケレバ構ハナインダト云フヤウナコトニナリマス、本當ニ目的ガ善ケレバ宜シウゴザイマスルガ、必ズシモ目的モ善クナイカモ知レズ、又之ヲ濫用スル者ガアリマシタラバ、實ニ危險千萬デアリマス、サウ云フコトニ世ノ中ガナッテ參リマスレバ、一朝非常ナル事ガ起リマシタ時ニハ、治安ノ維持ト云フコトニ非常ナ影響ガアルンデヤナカラウカ、相當ニハ大事件ニナル虞ガアリハセヌカト云フコトヲ心配シテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ見地カラ見マシテ、此ノ規定、大シタコトニハ見エマセヌケレドモ、町内會部落會等ノ役員其ノ他ノ者ガ、之ニ依ッテ公々然ト何カ捜査ガ出來ル、臨檢捜査、詰問ト云フヤウナコトガ出來ルカノ如ク、若シ誤ッテサウ云フコトヲスル者ガアリマシタナラバ、是ハ非常ニ困タコトニナルト考ヘラレマス、サウ云フヤウナコトハ萬ナイコトト思ヒマスルガ、尙此ノ法案ガ法律ニナリマシテ實施サレマスル際ニハ、内務御當局ノ方カラ直接、斯ウ云フヤウナ團體ヲ監督スル所ノ行政機關ニ對シマシテ、

適當ニ豫防取締ノ方法ヲ講ズルヤウニ、御訓令其ノ他御指揮ガアルコトヲ希望スルノデアリマス、サウ云フコトガ矢張り多數ノ者ノ意嚮デアリマシタ、此ノ點ニ付キマシテ内務大臣ノ御所見ヲ伺ヒマス、此ノ大藏大臣及ビ内務大臣ノ御答辯ヲ俟チマシテ後、此ノ法條ニ付テノ贊否ニ付テ我々ノ意見ヲ定メタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○國務大臣(實屋與宣君) 御答ヲ申上ゲマス、只今松本委員ヨリ御述ベニナリマシタ今回ノ改正法案ニ於キマスル所得稅法第八十二條第二項ノ規定ノ運用ニ關シマスル御意見デアリマスルガ、政府ト致シマシテハ、同項所定ノ團體ニ對シ質問致シマスル事項ハ、團體員及ビ其ノ家族ノ住所、氏名其ノ他團體ノ役員ガ特ニ調査ヲ遂グルコトナクシテ答申シ得ベキ範圍ニ限リマシテ、答申ノ爲ニ戸々ニ付テ調査質問ヲナスガ如キコトナカラシムル、斯ウ云フ御希望ト政府ノ意圖致シテ居リマスル所ハ全く同様デゴザイマス、從ヒマシテ施行ニ當リマシテハ、此ノ點十分注意ヲ致スベキコトノ訓令ヲ發シマシテ、嚴ニ之ヲ遵守セシムルコトト致シマス、尙右訓令ハ官報登載等ノ方法ニ依リマシテ、之ヲ公示致ス考デゴザイマス

○國務大臣(安藤紀三郎君) 只今内務大臣ニ對シテ特ニ御希望御注意ノゴザイマシタ點ハ篤ト了承致シマシテゴザイマス、先般來此ノ問題ニ付テ委員ノ皆サン方カラ色色御論議ガアリ、御審議ヲ重ネテ居ラレルコトヲ承ッテ居リマシテ、サウ云フ御質問ナリ、御意見ナリノ由ッテ來ル所モ私ハ篤ト承知致シテ居リマス、從ヒマシテ只今御意見御希望ノゴザイマシタ如ク、特別ニ此ノ

機會ニ於キマシテ町内會部落會等ノ指導ニ關シテ、ソレノ各地方廳ニ注意ヲ喚起致シマシテ、一層從前屢見聞致シテ居リマスル弊害ヲ此ノ機會ニ少シデモ除クヤウニ努力ヲ致シタイト存ズル次第デゴザイマス、色々從來モ手段方法等ヲ經ズシテ、却テ隣保共助ノ上下ヲ紊ルガ如キ事柄ノ數々存スルコトヲ承知致シテ居リマスガ、今後一層氣ヲ附ケマシテ、是等ノ指導ヲ督勵スルコトニ致シマス

○松本丞治君 私ト致シマシテハ只今ノ兩大臣ノ御答辯ニ満足致シマシテ、私ノ質問ヲ終リマス

○河田烈君 私が伺ヒタイト存ジマスノハ、今回提案サレマシタ所ノ稅法ノ條文ニ直接關係シテ居ルノデハ、ゴザイマセヌケレドモ、本委員會ニ於テ先般來ノ御審議ノ模様ヲ見マスルト、昨年既ニ成立致シマシタ所ノ納稅施設法ニ關スル點ニ付キマシテ、町内會部落會ニ於テ納稅團體ヲ組織シタ場合ニ、其ノ町内會部落會ノ今日ノ現狀ニ於テ、之ガ納稅資金ニ對スル保管ノ責任ガ如何ナル狀態ニナルカト云フコトノ懸念ガ起リテ居ルノデアリマス、是亦無理カラヌ御懸念ト思ヒマスルノデ、總、政府當局カラ御答辯ガゴザイマシタガ、此ノ場合更ニ明瞭ニ御考ヲ伺ヒテ置キタイト思フノデアリマス、即チ繰返シテ申サユデアリマスガ、町内會部落會等ニ於テ保管シテ居ル所ノ納稅資金ヲ亡失シタル場合ノ責任如何ト云フ點ニ付テデアリマスガ、之ニ對スル明確ナル御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 御答ヲ申上ゲマス、只今河田委員ヨリ御質問ガアリマシタ町内會部落會ニ於テ保管ヲ致シマシタ納

稅資金ガ亡失致シマシタ責任ニ關シマスル點ニ付テ御答ヲ申上ゲマス、町内會部落會ガ納稅事業ヲ行ヒマスル場合ニハ、納稅事業ノ利用ノ範圍、納稅資金ノ蓄積及ビ管理、租稅等ノ納付方法等ニ關シマシテハ、規約ヲ定メマシテ届ケ出シムルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ施行ノ大藏省令第三條デ、納稅資金ノ亡失ノ場合ニ於ケル責任關係ニ付キマシテハ、右ノ規約ニ定メテアリマス時ハ、其ノ定メニ依リマシテ決スベキモノト存ジマス、豫メ規約ニ其ノ點ガ定メテアリマセヌ場合ニハ、利用者タル會員ノ協議ニ依リ決セシムベキコトニ相成ル譯デアリマス、尙實際問題ト致シマシテハ、市町村ヲシテ徵稅交付金ノ一部ヲ以テ其ノ亡失ノ損失ヲ補填セシムルコトト致シマシテ、善良ナル納稅者ニ迷惑ヲ及スガ如キコトノナキヤウ善處スル考デゴザイマス、又納稅施設法ノ第一條ノ規定ニ依リマスレバ、納稅ニ關スル事業ヲ行フ者ハ町内會、部落會トナツテ居リマス、町内會部落會ガ事業ヲ開始スル時ハ、當然全部ノ會員ガ之ニ加入スルガ如クニモ見ラレヤウデゴザイマスルガ、行政ノ運営ニハ、納稅事業ニ關スル規約、是ハ施行規則ノ第三條ニアリマスガ、此ノ規約ヲ定メマシテ、之ガ利用ヲ申出タル者ノミヲ利用者トスルモノデアリマシテ、任意の性質ノモノデアリマス、從ッテ之ガ加入ヲ強制スルコトナキヤウ運用シツ、アルノデアリマシテ、今後モ同様ノ方針ヲ進ム積リデアリマス、併セテ此ノ點ヲ申上ゲテ置キタイト存ジマス

○河田烈君 只今大藏大臣ノ御答辯ニ依リマシテ、納稅組合ニ於テ、此ノ場合町内會並ニ部落會ガ具體的ノ問題ニナツテ居リマス

ガ、保管スル所ノ資金ノ亡失ニ對スル救濟方法ニ付キマシテハ、只今ノ御答辯ニ依リマシテ、行政ノ實際ノ運営ニ於テ之ヲ救濟スル所ノ相當ノ御用意ノアルコトハ了承致シマシタ、併シナガラ私ノ考ヘマス所ニ依リマス、既ニ亡失ヲ生ジタル場合ニ、之ガ救濟ノ途ヲ講ズルト云フコトニ先立チマシテ、寧ロ斯クノ如キ亡失ノ事故ノ發生シナイヤウニ防止シ得ルヤウニ致シテ置クコトガ大事デヤナイカ、即チ其ノ規約等ニ於キマシテ、斯クノ如キ事故ノ發生防止ノ規約ヲ定メルト云フコトガ寧ロ宜シイノデハナイカト思フノデアリマス、就キマシテハ、私ハ實見致シテ居リマセヌケレドモ、聞ク所ニ依リマス、既ニ組織セラレタ所ノ町内會部落會等ニ於テ組織セル納稅團體、納稅組合ニシテ、其ノ規約ノ定メ方ニ依リマシテ、現金ノ取扱ヒハ非常ニ危險デアルト云フノデ、實際ニ於テハ、全然直

接現金ヲ取扱ハナイト云フ方法ヲ採ッテ居ルモノモアルト承ツテ居リマス、又今大臣ノ御答辯ニモアリマシタヤウニ、利用者ト云フモノニ付キマシテハ、大臣ノ御答辯デハ是ハ強制的ニ非ズシテ、町内會部落會ノ全員ガ當然利用者トナツテ納稅組合ニ入ル譯デハナイト云フコトデゴザイマシタガ、全部ガ會員トナツテ利用スルニシマシテモ、其ノ利用者ニ於テ納稅スル所ノ稅種ヲ選擇致シマシテ、比較的多額ノ稅金ニ付テハ自身デ納稅スル、納稅團體員デハアルケレドモ、其ノ規約ニ於テ利用者ノ姓名ヲ届ケ出ルニ當リマシテ、稅種ヲ選擇シテ届ケ出テ居ルト云フヤウナ實例モ同ツテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ方法ヲ採リマスルト、多額ノ納稅資金ノ亡失ト云フヤウナ憂

ヲ除去スルコトガ出來ルノデハナイカ、併シナガラ納稅者ニ多イ所ノ極メテ零細ナル納稅者、或ハ多クノ金額ヲ納稅スル人ノ多イ所、或ハ農村或ハ市街地等ニ依リマシテ、必ズシモ一定ニハソレハ出來ナイイラウト思ヒマスノデ、其ノ實情ニ極メテ良ク即スルヤウニ、模範的規約ノヤウナモノヲ數種各事情ニ適シテ居ルヤウニ各關係當局ニ於テ十分審議セラレマシテ、ソレヲ御手本トシテ此ノ納稅團體ヲ組織スルヤウニ指導セラレタラ如何デアルカ、先ヅ發生シタ所ノ亡失等ノ事故ヲ救濟スルニ先立ッテハ、寧ロ今假ニ申上ゲマシタヤウナ例モアルヤウニ聞キマスカラ、之ヲ防止シ得ルヤウナ規約ヲ持ッテ居ル所ノ團體ヲ組織スルヤウニ十分指導セラレテハ如何カト思フノデアリマス、是ハ只今多少具體的ニ細カク申上ゲマシタガ、要ハ、納稅施設法ノ第一條ニ本法ニ於テ納稅團體トハ團體員ノ命令ヲ以テ定ムル租稅公課ノ納付ヲ容易確實ナラシムル爲當該租稅公課ノ納付又ハ其ノ納付資金云々、斯ウナツテ居リマシテ、納稅施設法ノ納稅團體ハ租稅公課ノ納付ヲ確實ナラシメルト云フコトノ精神ガ、明瞭ニ第一條ニ謳ッテアルノデアリマス、此ノ精神ニ基キマシテ租稅公課ノ納付ヲ容易確實ナラシメルヤウニシナケレバナラヌト云フコトガ精神デアリマス、其ノ組織ガ或ハ放漫デアリ、粗

架デアリ、或ハ不用意ノ爲ニ、納稅團體ヲ組織シタ爲ニ、却テ容易ナルドコロデナク不便ニナリ、確實デナク却テ不確實ノヤウナ結果ヲ誘致スルコト云フコトハ、全ク此ノ納稅施設法ノ精神ニ反スルノデアリマス、斯カルコトノナイヤウニ徹底的ニ指導シ、又此ノ納稅團體ヲ利用セラル、コトガ、寧

ロ肝要デアルト考ヘルノデアリマス、此ノ
點ニ付テ政府ノ御所見ヲ明カニ伺ッテ置キ
タイト思ヒマス、只今内務大臣ノ御言葉ニ
モ、或ハ町内會、部落會等ノヤリ方ニ依ッ
テ、却テ隣保共助ノ美風ニ害ヲ及スヤウナ
トガアツテハ、精神ニ反スルカラ、ソレヲ
十分注意シテ警戒スルト云フ御話ガアリマ
シタ、此ノ町内會部落會ニ於テ組織スル
所ノ納稅團體ニ於テモ同様デアリマシテ、
却テ之ガ爲ニ隣保共助ヲ良ク育成シテ完
ナルモノヲ養成セシムルノニ、其ノ缺陷カ
ラ隣保共助ノ美風ヲ害スルコトガアツテハ、
却テ納稅施設法ノ精神ニ反スルト思ヒマス、
此ノ點ハ十分注意セラレタイト思ヒマス、
此ノ點ニ關スル政府ノ所見ヲ明カニシテ置
キタイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 只今ノ河田委員
ヨリノ御尋ニ付キマシテ、御答ヲ申上ガタ
イト思ヒマス、納稅組合ニ於テ保管ヲ致シ
マスル資金ヲ亡失致シマシタ場合ニ、適當
ナル措置ヲ講ズベキコトハ勿論デアリマス
ルガ、ソレヨリモ寧ろ斯カル事態ノ發生ヲ
シナイヤウナ方策ヲ取ル必要ガアル、豫メ
亡失ノ危険ガナイヤウニ、未然ニ適當ナル
處置ヲ講ズベキデアルト云フ趣旨ノ御尋ネ
デアリマス、全く其ノ點ハ御意見ノ通りニ
感ジテ居リマシテ、其ノ點ガ極メテ肝要ト
存ズルノデゴザイマス、其ノ爲ニハ、只今
ノ御話ニモアリマスルヤウニ、實際ニ適當
致シマスル模範規約ノヤウナモノヲ研究ノ
上、是モ色々ノ場合ガゴザイマセウカラ、
數種類モ作成ヲ致シマシテ、ソレヲ一般ニ
廣ク周知セシメマシテ、各納稅團體ノ仕事
ノ運用ガ適當ニナリマスルヤウニ、豫メ事
故ガ發生シナイヤウナ方法ヲ運用ガ出來マ

スルヤウニ、努力ヲ致シタイト存ズルノデ
ゴザイマス、納稅團體ノ組織ガ實情ニ適シ
マセヌ爲ニ、却テ或ハ不便又不確實ナ事ガ
出來マスルヤウナコトヲ誘致スルト云フコ
トガアツテハ、誠ニ不都合ナルコトデゴザイ
マスルカラ、左様ナ事ガナイヤウニ十分指
導シテ參リタイト存ジマス

○河田烈君 了承致シマシタ

○委員長(伯爵二荒方徳君) ソレデハ黒田
委員、御質疑ヲ御續ケテ願ヒマス

○黒田英雄君 先程ノ私ノ質問ニ對シマシ
テノ政府委員ノ御答辯ニ依リマシテ、稅法
ノ第四條ノ第二項ニ追加セラレマシタ御趣
旨ト解釋ニ付キマシテハ、能ク了承致シマ
シタ、私ノ考ヘテ居リマシタ通りデアルト
思フノデアリマスルガ、ソレニ付キマシテ、
御説明モゴザイマシタガ、稅法ノ第五條ノ
合成清酒ノ問題デアリマスルガ、今日迄ハ
合成清酒ト致シマシテハ、法律上ハ清酒ニ
「アルコール」ヲ混合シテモ、合成清酒ト認メラ
レテ居ッタモノデアルト思フノデアリマス、
現ニ以前ニハ清酒ニ「アルコール」ヲ混ジタ
モノモアツタヤウニ聞及ンデ居ルノデアリ
マスルガ、其ノ成績ガ面白クナイノデ、今
日ハ止メラレテ居ルヤウニモ存ズルノデア
リマス、サウ云フ風ニ、第五條ニ既ニ合成
清酒トシテ認メラレテ居ルモノノ中カラ引
出シテ、今回清酒ニ「アルコール」、燒酎ヲ
混合シタモノヲ以テ清酒ト看做スト云フコ
トニ御實行ニナツタコトハ、ドウモ立法トシ
テハ餘リ面白クナイヤウナ立法ノヤウニ存
ズルノデアリマス、併シ只今ノ御説明ガ分
リマシタカラ、是ハ別ニ御答辯ハ要リマセ
ヌガ、立法トシテハ少シ拙デハナイカト考
ヘテ居リマス、是ハ意見デアリマス、次ニ

御尋ネシタイトノハ矢張り酒ニ付テデアリマ
スガ、其ノ前ニチヨット砂糖消費稅ニ付テ御
伺ヒシタイトデアリマス、砂糖消費稅ノ方
ノ第四條ノ三ノ改正案デアリマスルガ、製
造場又ハ保稅地域ヨリ引取ラレル砂糖、糖
蜜又ハ糖水ノ斤數ノ算定ニ關シ必要ナル事
項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムト今度改正ニナリ
マシテ、其ノ命令ノ案ト致シマシテ御示ニ
ナツテ居ル所ニ依リマス、一定ノ包裝ヲ爲
シ移入場ヨリ引取ラレル、砂糖ニシテ其ノ包
裝ノ種類並ニ一包裝毎ノ容量及取引斤數ニ
付大藏大臣ノ承認ヲ受ケタルモノノ斤數ハ
其ノ取引斤數ニ大藏大臣ノ定ムル斤數ヲ加
ヘタルモノニ依ルコト云フヤウニ規定セ
ラレマシテ、チヨット讀ミマシテ甚ダ分リニ
クイノデアリマスガ、是ハ從來問題トナツテ
居リマシタ砂糖、糖蜜、糖水等ガ、引取り
マシテ後ニ色々水分ノ發散等ニ依ッテ斤數
ニ變化ヲ來ス爲ニ、其ノ缺減ヲ補フ増シ目
ヲ認メルト云フヤウナ御趣旨デアアルモノデ
アリマスガ、チヨット其ノ解釋ニ付テ御説
明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(松隈秀雄君) 只今御尋ノ點ハ、
現在内地移入糖ノ課稅ニ當リマシテハ、移
入場ニ庫入レノ際ニ箇々ノ實量ヲ秤量致シ
テ居ルノデアリマス、實際ノヤリ方ハ本船
別承認書一通毎ニ總數ノ百分ノ五程度ヲ秤
量致シマシテ、ソレニ依ッテ推算致シテ居ル
ノデアリマスルガ、此ノ事ハ官民共ニ相當
煩雜ナ手數ヲ要シマスルシ、重要港灣ニ於
キマスル荷役能率ニモ影響ヲ及スト云フヤ
ウナ關係モアリマスルノデ、此ノ際課稅手
續ノ簡素化ヲ圖リマスル爲ニ庫入レノ際ノ
實量検査ハ原則トシテ之ヲ廢止シマシテ、
取引斤數ヲ基準トシテ課稅シヨウト云フノ

デアリマスルガ、内地移入糖ハ臺灣ヲ出
シテ運搬中ニ量ガ減ルト云フコトガゴザ
イマスルノデ、其ノ點ヲ考慮シマシテ、或
程度ノ入目ガ入ッテ居ル譯デアリマス、斯
致シマシテ、現地製造場カラ引取ラレテ參
ルノデアリマスルガ、ソコデ入目斤數ガ内
地ニ到着致シマシタ場合ニ、或程度減ッテ居
リマス、ソコデ今回ノ改正ニ依リ課稅ニ當
リマシテハ、取引斤數ニ對シマシテ、命令
ヲ以テ定メル數量ヲ加ヘタモノヲ以テ課稅
斤數ニ致スト云フコトニ改メタイトデアリ
マス、即チ一定ノ包裝ヲ致シマシテ、移入
場カラ引取ラレル砂糖ニ付キマシテ、取引
斤數等ニ付テ大藏大臣ノ承認ヲ得タモノ、
例ヘバ是ハ木綿袋ノ五十斤俵デアアルトカ、
或ハ麻袋入りノ五十斤俵デアアルトカ云フ
ヤウナ一定ノ包裝ヲシタモノデ、大藏大臣ノ
承認ヲ得テ居リマスル取引斤數ノ定タモノ
ニ付キマシテハ、ソレニ更ニ一定ノ斤數ヲ
加ヘタモノヲ以テ課稅ノ基本ニ致シタイト、
其ノ基本斤數ト申シマスノハ、或期間調査
致シマシテ、製造場カラ内地ノ移入場ニ入ッ
テ參リマスル間ニ缺減ガ生ジマシタナラバ、
例ヘバ五十斤俵ニ對シテ五十斤五分入ッテ居
ルケレドモ、ソレガ移入場ニ到着シタ當時
ニ於テ數量ヲ検査シテ見タ處ガ、五十斤三
分三厘ニナツテ居ルト云フ時ニ於テハ、或期
間ハ五十斤三分三厘ヲ以テ課稅ノ基礎トス
ルト云フコトニナリマスレバ、手數ガ餘程
省ケルト云フ處カラ今回改正ヲ致サウト致
シテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマ
シテハ、法令ノ根據ナクシテ斯カル簡易ノ
課稅方法ヲ行ヒマスルコトハ異論モゴザイ
マセウト考ヘマシテ、特ニ之ヲ法令ニ明カ
ニ致シタ次デアリマス

○貴族院
第四部第一二類 所得稅法外二十九法律中改正法律案特別委員會議事速記第五號

○黒田英雄君 只今ノ御説明デハチヨットマダ分ラヌ處ガアルノデアリマスルガ、詰リ五十斤入りダト云フコトデアレバ、ソレニ缺減ヲ見テ五十斤ナラ五十斤入レテアツテデスネ、ソレヲ五十斤ノ量トシテ見テ、大藏大臣ノ承認ヲ得テ居レバ五十斤ノ砂糖消費稅ヲ課稅スルノデスカ、ソレガ現實五十一斤アツテモ五十斤トシテ課稅スルト云フ御趣旨デスカ

○政府委員(松隈秀雄君) 只今ヤツテ居リマスルコトハ、例ヘバ五十斤俵ニ對シマシテ、五十斤五分入レマシテ、臺灣ヲ積ミ出シテ内地ノ港ニ來ルノデアリマス、其ノ間ハ未納稅デアリマス、内地ニ於テ移入場カラ引取ル時ニ初メテ課稅スルノデアリマス、サウスルト、移入場ヲ出ル時ニ實量ヲ檢査スルノデアリマスルガ、實際ヤツテ居リマスノハ、移入場ニ入レル時ノ斤數ヲ以テ大體移入場ヲ出ル時ノ斤數ト致シテ居ルノデアリマス、其ノ移入場ニ入ル時ニ箇々ノ俵ヲ原則トシテ調べ、實際ハ先程申上ゲマシタヤウニ、百分ノ五程度調べテソレデ推定スルノデアリマスガ、其ノ場合ニ於テ或俵ハ五十斤一分入ッテ居ッテ、或俵ハ五十斤四分入ッテ居ッテ云フ風ニ箇々ニ出テ參リマシタモノヲ計算シマシテ、此ノ一回分ノ引取ノ實量ハ幾ラデアルト云フコトヲ決メル譯デアリマス、從ヒマシテ、或引取ハ五十斤三分五厘デアツテ、或引取ハ五十斤三分ニナツテ居ルト云フ風ニ、本船別承認書一通毎ニ實量ガ違ッテ參ル譯デアリマス、ソレハ非常ニ手續ガ、官民ノ手數ガ煩雜デアリマスルカラ、今度ハ改正スルノデアリマシガ、其ノ場合ニ於テ五十斤俵ニ入目ガ入ッテ居ルカラト云ッテ五十斤デ課稅スルコトハ又

甘過ギルノデアリマス、入目ト云フモノハ五分入ッテ居ルケレドモ、實際調べテ見ルト、五分完全ニ無クナツテ居ルト云フコトハ先ヅ正常俵ニ付テハナイ、必ズ幾ラカ餘テ居ル、其ノ餘ツテ居ルモノヲ今迄ハ箇々ニ見付ケテ、平均シテ數量ヲ計算シテ全體ノ數量ト認定シテ居ッテデアリマス、今度ハ或期間ノ平均ヲ以テマシテ、ソレガ先程申上ゲマシタヤウニ例ヘバ三分三厘デアルト云フコトデアラナラバ、其ノ後或期間ハ常ニ五十斤俵ハ五十斤三分三厘入ッテ居ル、斯ウシテ課稅シテ行キタイ、ソレガ事情ニ依ッテ相當動イテ參ルト云フヤウナコトガアルカドウカハ時々檢査シテ調べテ、ドウモ最近ニ於テハ減リ方ガ多イヤウダカラ、三分三厘デハ少シ課稅ガ行キ過ギデヤナイカト云フコトデアレバ、又調べテ所ニ依ッテ、五十斤三分三厘ト云フノヲ變更シテ、三分二厘或ハ三分一厘トスルコトモ出來ル、ソレハ大藏大臣ガ其ノ必要ニ應ジテ檢査シタ所ニ依ッテ定メレバ爾後ハ其ノ平均ニ據ッテ行キタイ、斯ウ云フコトデアリマ

○黒田英雄君 只今ノ御説明デ能ク分リマシタガ、次ニ酒稅ニ付キマシテ、一點御尋ネシタイノデアリマスルガ、今度酒稅ノ稅率ガ改正サレマシテ、今迄清酒合成清酒其ノ他ニ付キマシテハ、造石稅、庫出稅トアツタモノヲ、造石稅ヲ今回廢止サレマシテ、庫出稅一本ニナリ、増稅ヲサレテ居ルノデアリマスルガ、從來此ノ造石稅ニ付キマシテハ、清酒ニ付テハ貯藏中ニ滓引減量トカ、或ハ缺減等ガ生ジマスルノデ、百分ノ七ノ缺減ヲ見テ課稅ヲサレテ居ラレタヤウデアリマスルガ、今回ハ庫出稅ニナリマシテ、滓

引トカ其ノ貯藏缺減ハ必要ハナイヤウニ思ヒマスルガ、清酒ニシテモ合成酒ニシマシテモ、庫出シラシマシテ、消費者ノ手ニ移ル迄ニハ樽ニ詰メタ酒ニ付キマシテハ、相當樽ガ吸ヒ取ルトカ、或ハ蒸發スルトカニ依ッテ相當ノ缺減量ヲ生ズルヤウニ承知シテ居ルノデアリマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、其ノ缺減ニ付キマシテハ、是ハ既ニ課稅ヲサレテ居ルノデアリマスルガ、大體酒稅ノ如キ間接稅ニ付キマシテハ、消費者ニ轉嫁サレルト云フコトガ主デアルト思フノデアリマス、消費ヲ規正スルトカ、或ハ購買力ヲ吸收ストカ云フヤウナ目的カラ見マシテモ、消費者ニ轉嫁サレルコトガ本來ノ目的デアラウト思フノデアリマスルガ、其ノ場合ニハ其ノ缺減シマシタ清酒ニ付キマシテハ、何人ガ之ヲ負擔スルノカ、消費者ハ勿論消費シナイノデスカラ、負擔ハシナイコトニナルノデアリマスカラ、誰カガ之ヲ負擔シナクチャナラヌコトニナルデデアリマシテ、詰リ自然ニ、無イ所ノモノノ消費稅ヲ何人カガ負擔シナケレバナラヌト云フコトニナツテ、非常ナ不合理デヤナイカト私ハ思フノデアリマスガ、勿論此ノ間接稅デモ生産者ガ負擔シテシマツテ、其ノ轉嫁ガ行ハレナイヤウナ場合ガアルコトハ、是ハ勿論財政學デモ説イテアルコトデアリマ

スガ、併シ現在ニ於キマシテ之ヲ負擔スルト云フコトハ色々ナ生産者或ハ色々ノ階段ニ於キマシテ、實際ニ於テハ負擔ハ消費者ニハ轉嫁シナイデ済マスト云フコトニヤレバ出來ルコトト私ハ思フノデアリマスカレドモ、ドウモソレハ餘リ理論上ハ適當デハナイノデアツテ、矢張り政府ハサウ云フモノニ付テハ消費稅ヲ掛ケナイ、詰リ庫出シサ

レテカラ消費者ノ手ニ渡ル迄ノ一定ノ缺減量ハアルト云フコトハ理論上認メラレルナラバ、或ハ庫出シノ際ニソレダケノ入レ目ヲシテ置イテ、ソレニ稅ヲ掛ケナイト云フ風ニ直シテ行クコトガ、理論上ハ適當デハナイカト云フ風ニモ考ヘルノデアリマスガ、政府ノ御所見ハ如何デアリマスカ

○政府委員(松隈秀雄君) 酒類ノ中樽詰ニシテ出シマスル清酒、合成清酒等ニ付キマシテハ、樽ガ酒ヲ吸フトカ、或ハ外界ヘ自然發散スルト云フヤウナコトニ依リマシテ、或程度自然缺減ヲ生ジマスルコトハ御説ノ通りデゴザイマス、今回造石稅ハ之ヲ庫出稅ニ統合致シマシテ、庫出シノ際ニ之ニ課稅スルコトニ合理化シタノデアリマスルガ、庫出シ後ノ缺減ヲドノ程度ノ稅率ニ考慮スルカト云フ問題デアリマスルガ、是ハナカナカ困難ナ問題デアリマシテ、缺減ノ分量ト云フモノハ容器ノ種類、運搬ノ期間等ニ依リマシテ箇々ニ違フ譯デアリマス、ソコデ消費稅ノ理窟ヲ嚴格ニ貫キマシテ、消費者ノ消費シナイモノニ付テハ課稅シナイト云フ方針ヲ取ルト云フコトニナルト、實ハ箇々ニ稅率ヲ變ヘルト云フコトニナリマスル譯デアリマシテ、サウスルト又價格ガ非常ニ區々ニナルト云フコトニナル譯デアリマス、ソコデソレナラバ平均的ニドレ位減ルカト云フコトヲ想像シテ、或歩合ヲ決メルト云フコトニナリマスレバ、是ハ稅率ノ盛リ方ニ結局ナツテ來ル譯デアリマシテ、今回酒類ニ付キマシテハ、或程度稅率ヲ引上ゲテアルノデアリマスルガ、見方ニ依リマシテハ自然缺減、其ノ他各種事情ヲ綜合勘案シテ、適正妥當ナルヤウニ稅率ヲ盛鳴テアル譯デアリマスルノデ、織リ込ミ濟ミトモ言ヘルシ、

レテカラ消費者ノ手ニ渡ル迄ノ一定ノ缺減量ハアルト云フコトハ理論上認メラレルナラバ、或ハ庫出シノ際ニソレダケノ入レ目ヲシテ置イテ、ソレニ稅ヲ掛ケナイト云フ風ニ直シテ行クコトガ、理論上ハ適當デハナイカト云フ風ニモ考ヘルノデアリマスガ、政府ノ御所見ハ如何デアリマスカ

○政府委員(松隈秀雄君) 酒類ノ中樽詰ニシテ出シマスル清酒、合成清酒等ニ付キマシテハ、樽ガ酒ヲ吸フトカ、或ハ外界ヘ自然發散スルト云フヤウナコトニ依リマシテ、或程度自然缺減ヲ生ジマスルコトハ御説ノ通りデゴザイマス、今回造石稅ハ之ヲ庫出稅ニ統合致シマシテ、庫出シノ際ニ之ニ課稅スルコトニ合理化シタノデアリマスルガ、庫出シ後ノ缺減ヲドノ程度ノ稅率ニ考慮スルカト云フ問題デアリマスルガ、是ハナカナカナカ困難ナ問題デアリマシテ、缺減ノ分量ト云フモノハ容器ノ種類、運搬ノ期間等ニ依リマシテ箇々ニ違フ譯デアリマス、ソコデ消費稅ノ理窟ヲ嚴格ニ貫キマシテ、消費者ノ消費シナイモノニ付テハ課稅シナイト云フ方針ヲ取ルト云フコトニナルト、實ハ箇々ニ稅率ヲ變ヘルト云フコトニナリマスル譯デアリマシテ、サウスルト又價格ガ非常ニ區々ニナルト云フコトニナル譯デアリマス、ソコデソレナラバ平均的ニドレ位減ルカト云フコトヲ想像シテ、或歩合ヲ決メルト云フコトニナリマスレバ、是ハ稅率ノ盛リ方ニ結局ナツテ來ル譯デアリマシテ、今回酒類ニ付キマシテハ、或程度稅率ヲ引上ゲテアルノデアリマスルガ、見方ニ依リマシテハ自然缺減、其ノ他各種事情ヲ綜合勘案シテ、適正妥當ナルヤウニ稅率ヲ盛鳴テアル譯デアリマスルノデ、織リ込ミ濟ミトモ言ヘルシ、

或ハソレデハ足りナイト、斯ウ云フ御意見ガアルカト思ヒマスルガ、我々ノ考ヘ方トシテハ、ソレ等ノ點モ考慮ニ入レテ税率ハ盛ツテ積リデゴザイマス、尙只今御話ノヤウナ實情ガゴザイマスルノデ、之ニ對シマシテハ容器ニ付テモ出來ルゲ改良ヲ加ヘテ發散ヲ防グト云フコトヲ致シマスルシ、又輸送、配給日數ノ短縮ニ依リマシテ、缺減ヲ成ルベク防止スルヤウニモ工夫致ス必要ガアルト存ジテ居リマス、ソレカラ實際減リマシタ量ニ對シマシテハ、其ノ損失ヲ補填スル方法ト致シマシテハ中間配給機關ノ中ニ、「プール」平準化ノ計算ヲ設ケマシテ、例ヘバ大日本酒類販賣會社ニ於テ利益ノ一部ヲ積ミ立テテ、サウシテ缺減ノアツタ場合ニ之ヲ地方販賣會社ヲ通ジテ小賣業者ノ團體ニ金ヲ交付スルト云フヤウナコトモ工夫致シタイト考ヘテ居リマスルノデ、左様御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

御趣旨ハ分リマシタガ、其ノ自然缺減ヲ税率デ盛ル際ニ考ヘタトモ言ヘルト云フコトデアリマスルガ、ソレハ説明ニ依リマスレバ考ヘテ居ルノダト云フコトハ言ヘテモ、既ニ税率トナツテ居ル以上ハ、其ノ消費稅ヲ消費者ガ轉嫁ヲ受ケテ負擔スルト云フコトガ、私ハ立法ノ御趣旨デアルト云フ風ニ思フノデアリマシテ、ドウモ其ノ點ハ了解ニ私ハ苦シムノデアリマス、ソレカラ尙其ノ負擔ヲ色々ナ方法デ以テ考慮サレルト云フコトハ結構デアリマシテ、今日ノ此ノ稅法ニ依リマシテハドウモサウ云フヤウニナルト思フノデアリマスルガ、併シ之モ實際ノ缺減ニ對スル稅ノ負擔ガソレデ埋メ合セラレルト云フソレダケノコトデアツテ、理論トシテハ矢

張リ消費者ニ轉嫁ガ行ハレナイ、詰リ無イ所ノモノニ對シテ稅ガ掛ケラレタト云フ風ナ結果ニナルノデアツテ、何トカ是ハ自然缺減ト云フモノガ、ドレ位出來ルト云フコトハ何カ研究ノ結果明カニナレバ、庫出シノ際ニソレダケヲ引イテ課稅ヲスルト云フ風ニスルノガ、理論上ハ適當デハナイカト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、是ハ尙御研究ヲ願ヒマシテ、出來ルコトナラバ其ノ方ガ理論的デハナイカト私ハ存ジテ居リマス

○**政府委員(松隈秀雄君)** 御說御尤モナ點モアルノデゴザイマスルガ、實行上困難ナ點モアリマスルコトハ先程申上ゲタ通りデゴザイマシテ、今後ノ問題トシテ尙十分研究致シタイト思ヒマス、尙價格ヲ決定スル際ニ於キマシテ、缺減ト云フヤウナコトモ考慮ニ入レテ決定スル方法モアルヤウデアリマスルカラシテ、十分研究致シタイト思フテ居リマス

是ト同時ニ、先日來當委員會ニ於テ、此ノ增稅ノ趣旨ヲ十分活カシテ行クヤウ望マレマス熱心ナル御考カラ、種々各委員カラ論議セラレマシタ諸點ハ、政府ニ於テモ篤ト之ヲ諒セラレ、此ノ改正法律ノ實際ノ運用上、萬遺憾ナキヲ期セラレマスコトト信ジ、且希望ヲ致ス次第デゴザイマス、以上ノコトヲ申添ヘマシテ、本案ニ贊成ヲ致シマス

○**委員長(伯爵二荒芳德君)** 他ニ御發言ハゴザイマセヌカ、御發言ナイモノト認メマス、然ラバ是ヨリ採決ニ入りタイト存ジマスガ、御諮リヲ致シタイト存ジマスノハ、本法律案、即チ所得稅法外二十九法律中改正法律案、之ニ付キマシテ、採決ニ入りタイト存ジマスガ、御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○**委員長(伯爵二荒芳德君)** 然ラバ所得稅法外二十九法律中改正法律案、此ノ法律案ニ對シテ御贊成ノ委員ノ舉手ヲ求メマス
〔總員舉手〕
○**委員長(伯爵二荒芳德君)** 全員御贊成ト認メマス、之ヲ以テマシテ本改正法律案ハ本委員會ニ於キマシテハ可決スベキモノト決定致シマシタ、之ヲ以テマシテ本委員會ヲ終了致シマス、皆樣誠ニ御苦勞様デゴザイマシタ、是ニテ散會致シマス
午後零時三分散會
出席者左ノ如シ

國務大臣
大藏大臣 賀屋 興宜君
內務大臣 安藤紀三郎君

政府委員
內務省地方局長 新居善太郎君
內務省警保局長 町村 金五君
內務書記官 大野 連治君
大藏次官 谷口 恒二君
大藏省主稅局長 松隈 秀雄君
大藏書記官 池田 勇人君
同 平田敬一郎君
同 林 修三君
專賣局長官 濱田 幸雄君
專賣局理事 稻森 實君
同 深澤 家治君

子爵大河內輝耕君
子爵織田 信恒君
子爵柳澤 光治君
子爵由利 正通君
中川 健藏君
三井清一郎君
男爵小畑大太郎君
松本 丞治君
河田 烈君
男爵益田 太郎君
三浦 新七君
黑田 英雄君
西野 元君
松本 學君
竹下 豐次君
中山 太一君
大藏 守治君

委員
伯爵二荒 芳德君
副委員長 男爵島津 忠彦君
委員 公爵德川 家正君
侯爵井上 三郎君
侯爵中山 輔親君

昭和十九年二月五日印刷

昭和十九年二月六日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局